

江戸川大学・江戸川短期大学 学 報

目 次

関係法令	1
学内規程	2
人事異動	2
主要日程	3
諸 報	3

関 係 法 令

文化芸術振興基本法（法律第148号）

1 文化芸術の振興に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務を明らかにするとともに、文化芸術の振興に関する施策の基本となる事項を定めることにより、文化芸術に関する活動を行う者（文化芸術活動を行う団体を含む。）の自主的な活動の促進を旨として、文化芸術の振興に関する施策の総合的な推進を図り、もって心豊かな国民生活及び活力ある社会の実現に寄与することを目的として制定された。

2 平成13年11月30日に成立し、同年12月7日に公布され、同日から施行された。

社会教育主事講習等規程の一部を改正する省令（平成13年文部科学省令第75号）

1 社会教育主事講習を受けることができるものが追加された。

2 平成13年8月30日付けで制定し、同年7月11日から適用された。

社会教育に関係のある職及び教育に関する職の指定の一部を改正する件（平成 13 年文部科学省告示第 146 号）

- 1 社会教育主事となるための実務経験として新たに評価できることとした業務が指定されるとともに、社会教育に関係のある職及び教育に関する職が追加された。
- 2 平成 13 年 8 月 30 日付けで制定され、同年 7 月 11 日から適用することとされた。

社会教育主事の資格及び社会教育主事講習の受講資格等の取扱いについて（通知）

- 1 社会教育主事講習等規程の一部を改正する省令及び社会教育に関係のある職及び教育に関する職の指定の一部を改正する件の制定を受け、平成 9 年 6 月 12 日付け生涯学習局長通知・文生社第 55 号（平成 9 年通知）は廃止し、平成 13 年 12 月 13 日付け生涯学習政策局長通知・13 文科生第 703 号のとおり扱うこととした。

学 内 規 程

セクシュアルハラスメントに関する苦情相談体制について(大学)

- 1 教授会の議を経て、平成 14 年 1 月 17 日付けをもって制定された。

人 事 異 動

理事長発令

発令年月日	異動内容	氏名	現職等	前職
14.1.1	(大学教員) 再任	太田 次郎	学長	学長

- 国民体育大会 -

一息コラム

来る 2 月 2 日、環境情報学科 2 年生の谷田川潤君(ボート愛好会)が、第 56 回国民体育大会で収めた優秀な成績に対し、茨城県知事より「国民体育大会賞」を授与されます。

さて、国民体育大会についてご存知でしょうか？

国民体育大会は、わが国最大の国民スポーツの祭典であり、昭和 21（1946）年、京都を中心とした京阪神地域で第 1 回大会が開催されました。以来、都道府県対抗、各都道府県持ち回り方式で毎年開催され、昭和 36（1961）年からは、国のスポーツ振興法に定める重要行事の一つとして、日本体育協会・文部科学省・開催地都道府県の三者共催で行われています。

今回は、正式競技が、冬季大会 3 競技、夏季大会 10 競技、秋季大会 27 競技、公開競技は各季とも 1 競技が開催されます。

2010 年の第 65 回夏・秋季大会は、千葉県で開催される予定です。本学の課外活動が盛んになり、多くの学生が活躍することが望まれます。

参考引用・日本体育協会

主 要 日 程

2002年2月の連絡事項(1月20日現在)

日 付	事 項
2月1日(金)	(大)一般入試A方式・センター利用入試(~2/3)、 (短)一般入試(~2/3)、(短)後期定期試験評価〆切
2月4日(月)	(大)一般入試B方式、(大)後期定期試験評価〆切
2月5日(火)	日経ビジネス 小林至先生のキャンパス内撮影の死体 14:00~
2月8日(金)	(短)追・再試許可者発表、(短)ヨーロッパ研修結団式 (大)集中講義(~2/13)
2月11日(月)	経営社会学科長海外出張(~2/20)
2月12日(火)	(短)追・再試(~2/14)
2月13日(水)	(大)学科別卒業判定会議(事前)
2月15日(金)	(大)追試許可者発表、優秀論文発表会 (短)ヨーロッパ文化研修出発(~2/27)
2月16日(土)	(大)留学生 期、(大)3年次編入入試 期、 (大)追試験(~2/19)
2月18日(月)	(短)追・再試評価〆切
2月20日(水)	(短)リーダーズ・キャンプ(~2/22)
2月22日(金)	(大)追試評価提出〆切
2月27日(水)	(大)学科別卒業判定会議
2月28日(木)	(短)第1次卒業判定会議

<委員会等>

日 付	事 項
2月2日(土)	(大)入試管理委員会
2月7日(木)	(短)運営準備会、(短)就職委員会
2月13日(水)	(大)教務委員会、(大)学生委員会
2月14日(木)	(短)教授会、(短)運営委員会、(短)学生委員会
2月20日(水)	(大)教授会、(大)運営委員会、(大)広報委員会、(大)学科会議

諸 報

江戸大生「第18回土光杯全日本学生弁論大会」で特別賞

フジサンケイグループ行革キャンペーン実行委員会主催の「第18回土光杯全日本学生弁論大会」が1月12日に行われ、マ・コミュニケーション学科3年三宅陽子さんが特別賞に選ばれました。

第10回全国高校放送コンクール(江戸川大学主催)の入選発表

<最優秀賞>

部門	NO	作品題名	高等学校名	生徒氏名
テレビ番組	7	「夢への第一手」	兵庫県立小野高等学校	
ラジオ番組	26	「受け継がれる情熱」	富山県立桜井高等学校	
読む	77	「戯作三昧」	岡山県私立山陽女子高等学校	辻 文香

入選作品数 : テレビ番組部門 4、ラジオ番組部門 6、読む部門 11、放送研究部門 2、計 13 作品
 応募作品数 : テレビ番組部門 21、ラジオ番組部門 37、読む部門 234、放送研究部門 2、計 294 作品

(161校)

参照ホームページ <http://www.edogawa-u.ac.jp/msco/housou/>

第11回全国高校生韻文コンテスト（江戸川短期大学主催）の入選発表

<個人の部 天位・一位>

部門	NO	高等学校名	生徒氏名
短歌	244	神奈川県私立湘南白百合高等学校	佐藤 友紀子
俳句	129	茨城県立八郷高等学校	飯島 悟士
現代詩	119	愛知県私立東海学園高等学校	井上 美保

<団体の部 一位>

部門	高等学校名
短歌	青山県立三本木高等学校
俳句	愛媛県立土居高等学校
現代詩	青山県立南郷高等学校

入選作品数(個人) : 短歌部門 6、俳句部門 6、現代詩部門 6、計 18 作品
 入選作品数(団体) : 短歌部門 3、俳句部門 3、現代詩部門 3、計 9 作品
 応募作品数 : 短歌部門 657、俳句部門 1030、現代詩部門 180、計 1867 作品(61 校)

参照ホームページ <http://www.edogawa-u.ac.jp/coll/index-j.html>

学内共同研究費採択研究題目

本研究によって得られた成果については、学内紀要、学会・学会誌への発表等印刷物として必ず発表すること。また、研究終了後は、翌年4月末日までに学長あて研究成果報告書(概要)を提出してください。

<江戸川大学>

- ・ 聖性とジェンダーの比較社会学的研究(代表者平山満紀 単年度 57万円)
- ・ アロマによるリラクゼーション効果の心理生理学的検討(代表者松田英子 単年度 144万円)
- ・ 映像情報の解読とメディアリテラシー(代表者市川昌 単年度 75万円)
- ・ 日本から見たニュージーランドのスポーツ文化に関わる研究～ラグビーを中心に～(代表者新井正彦 単年度 56万6千円)
- ・ 電子ネットワークを活用した授業用「電子教材」データベース化と配信に関する研究(代表者久保悌二郎 単年度 75万円)
- ・ 環境計測手法の非自然系学生による利用と自然保護論の展開(代表者伊藤勝 単年度 90万円)
- ・ 環境関連情報の収集と整備に関する基礎研究(代表者長窪専三 単年度 110万円)
- ・ インターネット利用技術の研究(代表者向仲顕 単年度 50万円)
- ・ 電子商取引とIT関連ベンチャー企業(代表者小田一郎 単年度 90万円)
- ・ 神田古書店街における古書市場・流通・まちづくりの研究(代表者大内田鶴子 2年度 100万円)

<江戸川短期大学>

- ・ 日本文学史跡のデータベース化 - 日本文学史跡の踏査研究を行い、資料のデータベース化を図る - (下平武治 単年度 102万2千円)
- ・ 右脳の活性化による読書能力の開発に関する研究(下平武治 単年度 197万8千円)

<平成14年度限りの特別研究>

- ・ 能力別語学教育のカリキュラム・教授法開発および語学研究センター設立に関する諸事業の可能性の予備調査研究(堀江固功 3年度 245万円)
- ・ コンピュータ(CALLシステム)活用の英語教育の可能性と教材の関係および学習者の意識と学習成果についての調査研究(斉藤喜久志 単年度 98万9千円)
- ・ マルチメディア教材を使用した発信型語学授業とパーソナルメディア教材開発(井上雅子 単年度 60万円)
- ・ 英語教育のシステム化と評価法の研究(原田昌明 3年度 144万円)

職員の名札着用について

事務局では、今年2月から職員を対象にネームプレートの着用を開始しました。職員の職務に対する自覚の向上と学生や一般来校者への一層のサービス提供を目的としたもので、ネームプレートには本学のマークと所属名のほか、氏名をローマ字で併記しています。



平成14年度学生リーダーについて（短期大学）

平成9年より始まった学生リーダー制度は、大学生としての意識を持たせつつ、教員と同じ視野で見ることができる学生リーダーを育てることによって、1年生に学生の目でカリキュラムや学生生活を伝えるなど、1年生と2年生の交流を図り、学園生活を盛り上げることを目的として発足しました。

新年度の学生リーダーは、43名（自薦18名、教員推薦25名）の立候補者の中から、下記12名が選出されました。

0150142 高木 千春 日本文学、0150074 川辺 義之 マスコミ、0150195 人見 智之 マスコミ、0150010 猪狩 育代 英語英文学、0150012 池上 由夏 英声英文学、0150133 鈴木 宏美 観光ビジネス、0150017 石田 有季 文化史、0150063 鹿島田朋子 文化史、0150025 稲垣 佳代 環境文化、0150049 大場 瑞恵 心理学、0150051 岡本 早代 心理学、0150129 鈴木 慶子 心理学

就職活動の本格化に向けて

いよいよ年も明け、平成15年3月卒業者の就職活動も本格化してきます。就職課としても、1月中旬に全国6,497社に求人申込書を発送しました。（大学・短大共通）

この求人申込書は、2月以降随時、学内掲示ならびに就職課ホームページ <http://www.edogawa-u.ac.jp/shushoku/>でも公開していきます。

また、年々厳しさを増す就職環境を踏まえ、大学3年次生に対し、誤った就職活動のないよう就職個別相談会を2月7日～21日の期間で実施し、短大1年次生に対しては、第2次面接指導（立ち居振る舞い等）を、1月21日～28日の期間で実施しました。

AO入試について

短大は現在も随時エントリーを受付中で、大学は 期を終えました。現在エントリー者数等は、下記表のとおりとなっております。

また、大学のAO入試 期（環境デザイン・経営社会）のエントリー受付を2月11日から開始します。

<表2 AO入試データ(2002年1月15日現在)>

	大学	短大	計
エントリー者数	271	88	359
合格内定者数	214	80	294
出願者数	182	79	261

数字は6月1日からの累計です。

第1号 訂正

- p1 学報の発刊に寄せて 継承 継続
 p8 企画課便り 與座綾乃 與座彩乃
 p9 訃報 歌詞 歌誌

お知らせ

「学報」の次回(通巻3号)の発行は3月1日(金)、原稿の〆切は2月20日(水)となります。
 「学報」への寄稿に際しましては、できるだけ電子ファイルなどでお寄せ下さい。
 学内行事、イベント情報、教職員サークル活動などの記事も募集しています。
 なお、委員会情報については、委員長に日程や議題を確認させていただく事がございますので、宜しくご協力下さい。企画課(TEL231)
 e-mail:kikaku@edogawa-u.ac.jp



江戸川大学・江戸川短期大学学報 Vol.1 No.2 (通巻2号)
 2002年2月1日発行

編集 江戸川大学・江戸川短期大学事務局企画課
 発行 〒270-0198 千葉県流山市駒木 474
 TEL0471-52-0661(2/11 から 04-7152-0661)
 印刷 株式会社和田フォトリソ印刷
 〒133-0057 東京都江戸川区本一色 1-24-2
 TEL03-5607-5008

市外・市内局番変更のお知らせ

平成14年2月11日午前2時から0471地域の市外局番と市内局番が次のように変更となります。

TEL 0471-52-0661 04-7152-0661
 FAX 0471-54-2490 04-7154-2490